

バイログフィルターPAD(水槽工法)

販売品

バイログフィルターPADとは？

特許取得
第3679968号

環境配慮型濁水処理フィルター工法「バイログフィルター」の技術を応用し、鋼製水槽やノッチタンクへ簡単に設置出来るようにした水槽専用※1のフィルターになります。材質は天然ヤシ繊維100%で、透水能力は1㎡当たり18㎡/h・濁度低減率は最大で45%の能力があります。設置方法に関しては、水槽底部に堆積した汚泥の影響を受け難い方法を開発し、水槽等の限られた空間でも濁水中の土粒子を効率よくろ過させることが可能になりました。

※1:バイログフィルターPADは水槽専用で沈砂池や水路に設置することは出来ません。沈砂池等へ設置をご検討の場合は、バイログフィルターをご使用ください。

フィルター PAD 特性値

最大濁度低減率：45%

バイログフィルターPADは、濁度を最大で45%低減することができます。

※記載数値は理論上であり、必ずしも濁水を45%低減することを保証したものではありません。

透水係数：5mm/秒

バイログフィルターPADは、5mm/秒の透水能力があります。フィルター1㎡あたり、最大18㎡/時

式： $(1\text{㎡} \times 5\text{mm}/\text{秒} \times 3600) / 1,000 = 18\text{㎡}/\text{時}$

※透水係数は、新品時かつ真水通水における数値です。
※安全率は10%以上を見込んでください。

製品規格および材料一覧

フィルターPAD (Aタイプ)

全長：930mm
全幅：470mm
全高：140mm
重量：約9kg
使用枚数：3枚



フィルターPAD (Bタイプ)

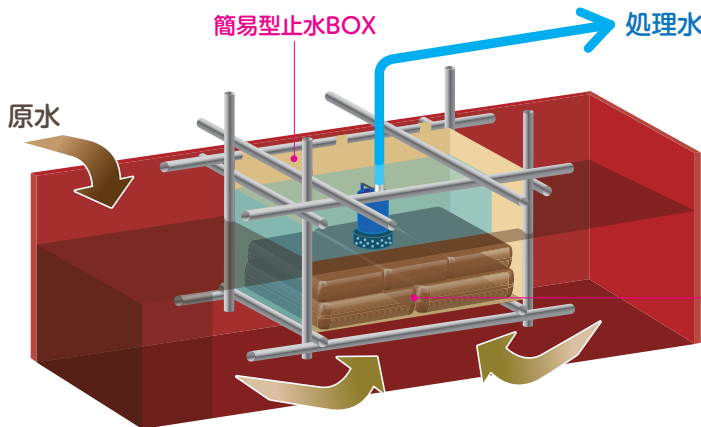
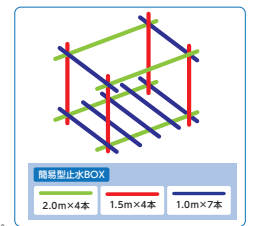
全長：930mm
全幅：715mm
全高：140mm
重量：約13kg
使用枚数：2枚



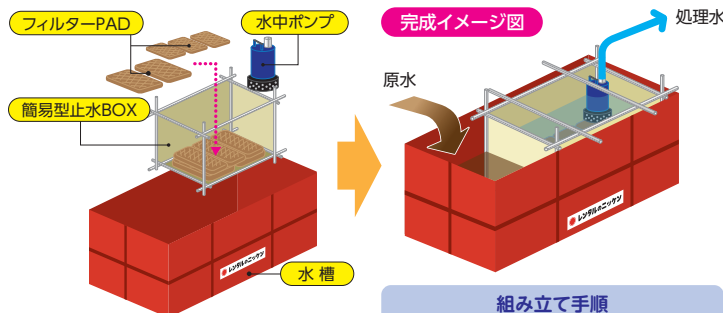
使用材料表

①フィルターPAD	1セット(Aタイプ3枚、Bタイプ2枚)
②簡易型止水BOX	1枚(L:1.5m H:1.0m W:1.0m)
③水槽	1槽(推奨5m水槽以上)
④単管パイプ	2.0m×4本、1.5m×4本、1.0m×7本
⑤排水用	水中ポンプ

※クランプ等を含みません。
※用下げ固定する場合、単管の長さが変わります。
※③～④はお客様にてご用意をお願いします。
※止水BOX固定およびフィルター浮上防止用の単管パイプが別途必要になります。



5㎡水槽 組み立てイメージ

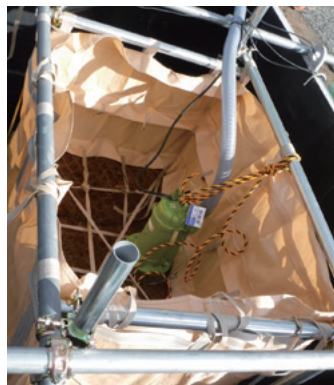


止水BOX固定方法

- ① 単管パイプ2.0mをタンク天場に設置します。
- ② 単管パイプ1.5mを止水BOX天場に設置します。
- ③ ①と②の単管パイプを固定して完了。

組み立て手順

- ① 組み立てた止水BOXに、フィルターを設置する。
- ② ①の止水BOXを水槽に設置する。
- ③ 止水BOXを固定する。
- ④ 排水用水中ポンプを設置する。
- ⑤ 組み立て完了。



技術の特長

- バイログフィルターPADは専用の簡易型止水BOX※2を用いることで、フィルター下面から上方に通水させ、土粒子の自然沈降を促し効率的にろ過することが可能です。また、堆積物でフィルターの有効面積が、減少し難い設置方法を採用することで、より安定した処理が行えます。
- 天然ヤシ繊維を用いたろ過方式による濁水処理になります。薬剤を使用せず濁水処理を行なうことで、放流先の環境負荷を軽減させることができます。※3
- 移動に適した水槽を採用することで移動式濁水処理装置としてご使用いただけます。
- 濁水の流量や目標放流濁度に合わせてフィルターの増設が可能です。※4
- 薬剤処理後のフロック流失対策などの軽微な三次処理としてもご使用いただけます。

※2:簡易型止水BOXは、下面に開口部が設けられています。なお、側面は簡易止水で流入し難い設計になっています。

※3:放流基準や濁水中の成分によっては他の工法との併用が必要になる場合があります。

※4:設置される鋼水槽の規格によって増設できる最大数が異なります。